

小数のわり算(第2時) 計算

- 問 300 ÷ 2.5 を計算しましょう。
- 小でわる計算の仕方を考えよう。

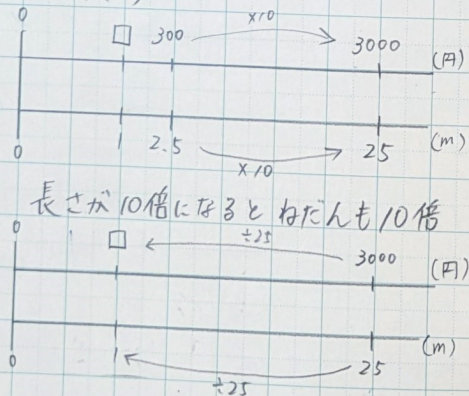
わり算では、わる数とわられる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても答えは変わらない。

性質を使って

$$300 \div 2.5 = (300 \times 10) \div (2.5 \times 10) = 3000 \div 25 = 120$$

$$\begin{array}{r} 25 \overline{) 3000} \\ \underline{25} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}$$

図を使って



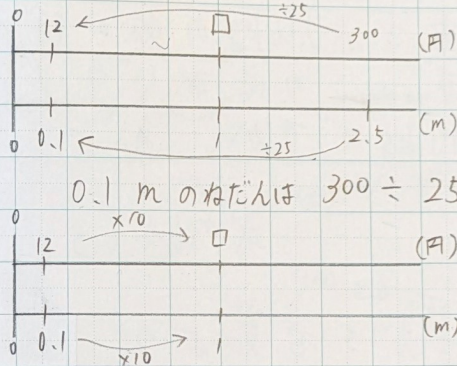
$$3000 \div 25 = 120$$

わり算の性質を必ず確認する。

数で確認してもよい
6 ÷ 2 = 3
60 ÷ 20 = 3
600 ÷ 200 = 3

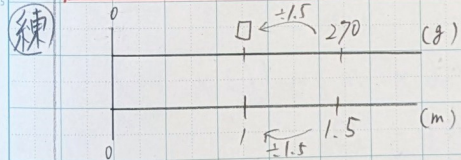
自力解決が難しい場合は、教科書の穴あきを使い、教師主導でしっかり解説する。

図を使って



$$1 \text{ m は } 0.1 \text{ の } 10 \text{ 倍なので } 12 \times 10 = 120$$

小数でわる計算は、性質を使って整数÷整数にすると計算ができる。



$$270 \div 1.5 = (270 \times 10) \div (1.5 \times 10) = 2700 \div 15 = 180$$

$$\begin{array}{r} 15 \overline{) 2700} \\ \underline{15} \\ 120 \\ \underline{120} \\ 0 \end{array}$$

A, 180 g

2重数直線を見て、答えが270gより小さいかを見直させる。

振